

もうひとつの官兵衛生誕・黒田氏発祥の地を歩く

官兵衛の里・黒田ハイキングマップ

西脇市観光協会 TEL 0795-22-3111

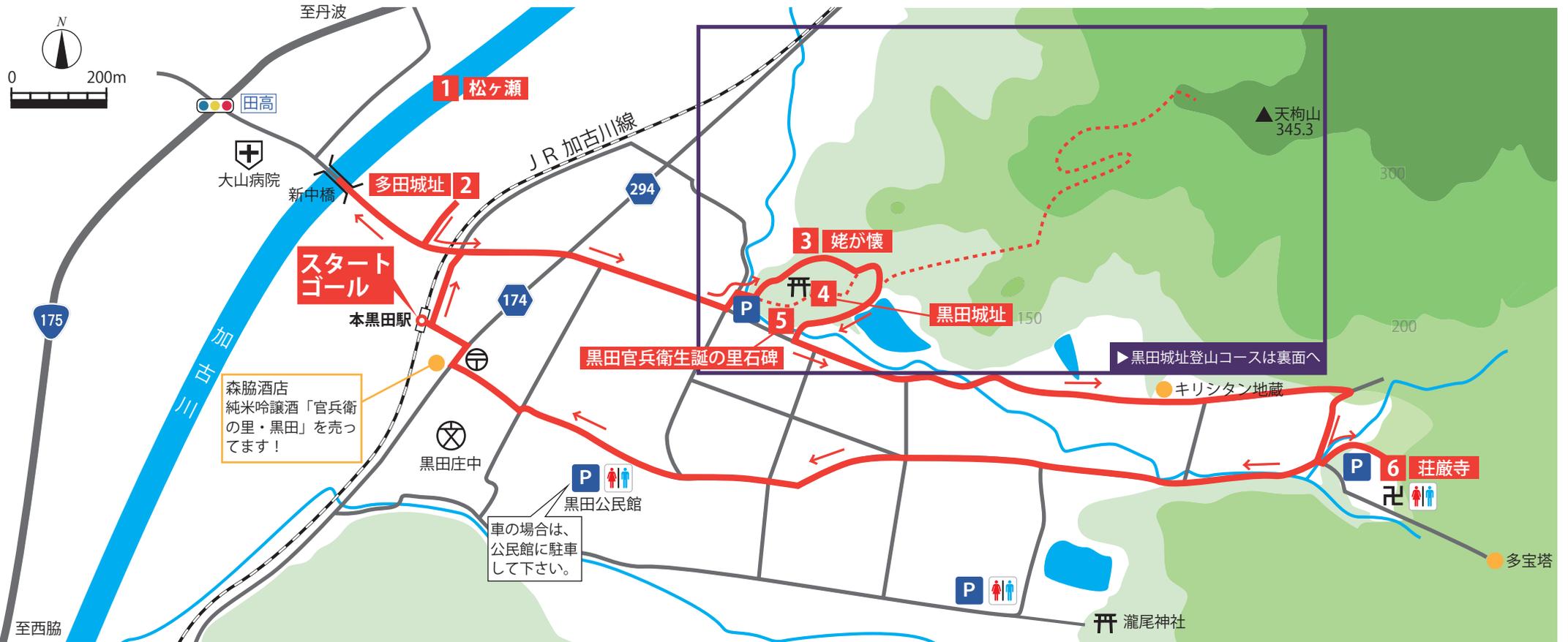


官兵衛の里・西脇市
イメージキャラクター
『へそのかんちゃん』

官兵衛の里・西脇市へようこそ。

黒田庄町黒田には、官兵衛や黒田家ゆかりの場所が点在しています。戦国の歴史とロマンに思いをはせながら、新緑や紅葉など四季折々の美しい風景が体感できる官兵衛の里を歩いてみませんか。

JR 本黒田駅発着 約 4.5 キロ (80 分コース)



| 1 松ヶ瀬 | 2 多田城址 | 3 姥が懐 | 4 黒田城址 | 5 黒田官兵衛生誕の里石碑 | 6 荘厳寺 |
|---|--|--|---|---|--|
| <p>まつがせ</p> <p>多田城落城の際、官兵衛とともに加古川を渡って逃げた母・於松（おまつ）が溺死したという伝承地。新中橋から上流側に望めます。</p>  | <p>ただじょうし</p> <p>黒田城の山下にあった城主居館と家臣団の屋敷群。堀跡や建物跡が発掘された市営住宅前に看板があります。</p>  | <p>うばがふところ</p> <p>「播磨古事」では、多田城に付随する邸宅跡と伝わっています。周辺は整備され「黒田官兵衛生誕地」の石碑が建てられています。</p>  | <p>くろだじょうし</p> <p>中世・戦国時代に築かれた山城で、黒田氏9代の居城。現在稲荷神社がある山上に城があったと伝わりますが、全体の城郭は不明です。</p>  | <p>黒田官兵衛生誕の里石碑</p> <p>黒田城址のふもと、国道から荘厳寺に向かう途中の道沿いに建っています。官兵衛の里・黒田訪問の記念撮影のポイントです。</p>  | <p>しょうごんじ</p> <p>白雉年間創建の古刹で紅葉の名所。江戸時代前期に建立された多宝塔は、兵庫県指定の文化財です。「荘厳寺本黒田家略系図」を所蔵しており、持仏堂で複製を公開・展示しています。</p>  |

黒田城址・登山コース

【片道：約 40 分 全長：約 1.1 km 標高差：約 200m】



城山全体像

中世・戦国時代に築かれ、後に稀代の軍師・官兵衛を輩出した黒田家の居城と伝わる黒田城址。全体像は不明ですが、城があったと伝わる稲荷神社から東へ続く尾根上にも人の手が加わった地形もあり、城郭の一部ではないかともいわれています。

1 登山道入口



市道横に「黒田城址」の標柱が立っています。進入路には門が設置されていますので、手で開けて入って下さい。

2 ゲート (山頂まで 1108m)



池の横に登山道の案内標識があります。ゲートを開けて入って下さい。(開けた後は必ず閉めて下さい。)

3 大日如来 (山頂まで 1000m)



登山道から少し離れた所に建てられています。近くには中世の窯跡と伝わる場所もあります。

4 散策路 (山頂まで 650m)



ゆるやかな傾斜が続きます。



山頂
(見張り櫓跡)
標高 312m

眺望場
(標高 235m)

6 急坂 (山頂まで 200m)



急坂が続きます。

- 駐車場
- 休憩ベンチ
- 案内板・標柱

5 眺望場 (山頂まで 350m)



ベンチが設置され黒田集落を見下ろせます。案内看板の奥には土橋状の遺構や曲輪の削平途中とも見える地形があります。

7 山頂 (見張り櫓跡)



天狗山に続く尾根上にあり、明確に削平された地形には「見張り櫓跡」の標柱が立っていますが、雨乞い場や護摩焼き場の可能性もあります。黒田集落や荘厳寺を眼下に見ることができます。